

24. 皮膚腫瘍

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	インターフェロン 療法	放射線療法			凍結 療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
							体外照射					治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 皮膚科	5	2	状況	○	○	○	○	○	必要に応じて形成外科と連携をとりながら、診断・治療をおこなっています。	ア	皮膚科 <a href="http://www.okn.gr.jp/department/hifuka.html">http://www.okn.gr.jp/department/hifuka.html</a>	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	なし	あり	なし	あり		イ	http://			
2 形成外科	3	2	状況	○	○	○	○	×		ア	形成外科 <a href="http://www.okn.gr.jp/department/keiseigeka.html">http://www.okn.gr.jp/department/keiseigeka.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	あり	なし		イ	http://			
3 放射線治療科	1	1	状況					○		ア	放射線科-担当医紹介 <a href="http://www.okn.gr.jp/department/hosyasen_doc.html">http://www.okn.gr.jp/department/hosyasen_doc.html</a>	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績					あり		イ	http://			
4			状況							ア	http://			
			実績							イ	http://			
5			状況							ア	http://			
			実績							イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん
	有棘細胞がん